

## 「市長と話そう、子育てタウンミーティング」について（全体版）

- 1 日 時 平成27年6月29日（月）午前10時15分から11時10分まで
- 2 場 所 北上市大通り保育園地域子育て支援センター
- 3 参加者 豊巻 智子さん、遠藤 しずかさん、藤原 輝子さん  
金原 雅世さん、高橋 咲さん、吉田 佳美さん、高橋 夏江さん
- 4 市出席者 高橋市長、阿部教育部長、熊谷保健福祉部長、  
菊池子育て支援センター長  
（事務局）及川広聴広報課長、同課 高橋課長補佐、石田主任
- 5 懇談テーマ 「子育てで困っていること、または子育てで行政に望むこと」
- 6 懇談内容

### 市長あいさつ

市 長：北上市では現在、まちづくりの作戦を練るあじさい都市推進本部というものがあまして、その中の第一に子育て支援を掲げております。

ちなみに北上市では今年5月に52人の赤ちゃんが生まれています。人口10万人あたりで計算すると55.2人です。ちなみにお隣の花巻市は48人。10万人あたり48.4人となっています。北上市は若い人たちが多いまちです。また、若い人の働く場所が多いというのは北上市が以前から行ってきた政策で、現在市外から220社を超える企業を誘致しています。

これからはそういった政策に加えて、若いお母さんたちが働きながら子育てできる方法など、グループを作って「こんなことをしたいから行政でサポートしてくれないか」と提案してもらい、それを受けて行政が取り組むということが大切になってきます。具体的な提案は行政としても動きやすいですしね。当然、本日もそういう場ですので、皆さんの提案のうち、できるものはすぐに取り組んでまいります。本日はよろしくお願ひします。

### テーマ懇談「子育てで困っていること、子育てで行政に望むこと」

豊巻さん：公園や園庭開放、子育て支援センターなどを沢山利用しています。気になるのは和賀川ふれあい広場についてです。ベンチの数をもう少し増やせないでしょうか。

市 長：いつも子育て支援センターや公園を利用いただきありがとうございます。和賀川ふれあい広場は私も週に2、3回自転車を通ります。今の季節はあじさいが七分咲きになっていますね。ベンチについては早速担当に伝えますので何とかなると思います。みなさんも思ったことはどんどん発言してくださいね。

遠藤さん：私は静岡出身です。夫の転勤でこちらに引っ越してきたのは4月なので、まだあまり分からないのですが、気になるのは子どもの医療費助成（注1）

です。以前いた町では病院代は全て無料でしたが、北上市では収入によって子どもの医療費の助成額が変わりますよね。北上市も医療費が無料になればとても助かるのですが、どうでしょうか。

市長：現在は、3歳未満の医療費は自己負担なしです。3歳以上、小学3年生までは、自己負担額から外来月1,500円、入院では月5,000円を差し引いた医療費を給付しています。

また、現在小学6年までの医療費助成と併せて、保育料を国の基準額の40%とすることを目標として計画しています。実施時期については今年度のあじさい都市推進本部での議論を踏まえて決定していきますので、ぜひ、あじさい都市推進本部を注目していただきたいと思います。頑張って進めていきます。

**(注1)** 子どもの医療費について

当市では、乳幼児の中でも、特に発達段階の3歳までは医療費が掛かることから、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、窓口負担分の全額を助成しています。

3歳以上の乳幼児の福祉医療費給付制度の対象範囲、受給者負担及び所得の限度額は、岩手県の補助基準に基づき実施していることから、保護者等が市民税課税の場合、外来1月1医療機関又は1調剤薬局あたり1,500円、入院1月1医療機関あたり5,000円を自己負担としているものです。市民税非課税世帯の場合、受給者負担はありません。

なお、平成27年8月から県の補助基準が見直されたことから、当市でも児童の医療助成について、見直しを検討しています。

※乳幼児などの医療費助成制度を受けるには、保護者等の所得が限度額未満であることが必要です。被扶養者の人数によって、限度額が異なります。くわしくは、国保年金課公費医療係（電話72-8205）にお問い合わせください。

(参考URL) <http://www.city.kitakami.iwate.jp/docs/2014073000032/>

藤原さん：子どもの健診についてですが、いつも子どもが昼寝する時間帯に行われます。午前中に実施することはできませんか。また、ベビーマッサージについても補助の対象として頂きたいと思います。

熊谷保健福祉部長：健診については、医師の都合があり、病院が診察時間の合間に合せて行ってもらっているので御理解いただきたいのですが。

藤原さん：現在は午後1時受付ですが、午後2時から3時とかに変更することはできませんか。

高橋咲さん：うちの子も、お昼寝時間の健診は困りました。もう少し遅い時間にしてもらいたいと思います。

市長：例えば午後2時受付3時開始だとどうでしょうか。

藤原さん：だといいですね。

市長：先生方の都合もあるので、時間をずらせるか相談してみます。ベビーマッ

サージについてはちょっと勉強してみます。

金原さん：公園に日陰が無いのは困ります。特にえぶりこ古墳公園は日陰が無いので、直射日光を防げる樹木や東屋とまではいかななくても屋根が欲しいです。また、えぶりこ古墳公園はトイレが遠いです。小さい子と一緒にだとトイレが遠いのは大変です。

市長：木を植えるよりは東屋の方が実現性はあると思います。河川敷の公園は洪水の対策があるので難しいですが、それ以外の公園については設置可能です。

高橋咲さん：3人子どもがいます。3番目が生まれたばかりの頃に上の子が入院することになったのですが、一時保育をしてくれる保育園はときわだい保育園しかなかったのですが、入院中は自宅の和賀町からときわだい保育園と病院を往復しました。また、一時保育は人数制限があるので、預けることができない時は下の子を病室に連れて行きました。もっと一時保育を拡大してもらいたいです。ファミリーサポートセンターは預かってくれる方の都合をつけるため、2、3日掛かるので、入院の翌日からすぐという利用はできません。うちは祖父母に預けることができなかったのが本当に大変でした。保育料の1日3千円も掛かりますし。

市長：確かに大変ですね。ちなみに一時保育を同じ地区に複数設置することは可能ですか。

阿部教育部長：制度としては可能ですが、新たに一時保育室を確保しなければなりません。

菊池センター長：既存の保育園で実施しようとするれば人員とスペースが不足します。

高橋夏江さん：民間の託児所でも一時保育をやっているようですけど。

高橋咲さん：しかし、子ども3人を別々の所に預けて、迎えに行くと、家事をするのは大変です。1日なら頑張れますが、入院など長期間は負担が大きいので同じ保育園がいいです。

市長：情報の整理や、今ある施設の活用など工夫する必要がありますね。

吉田さん：土日の子どもの遊び場についてですが、雨や雪の日に遊べる場所が欲しいです。子育て支援センターは先生方やよそのお母さん方とお話しできたりしてありがたいので土日も開けていてもらいたいです。

二点目は、市役所本庁舎の「赤ちゃんの駅ほっぺ」(注2)についてです。場所が暗く入りづらいです。また、おむつを替えた後に手を洗う場所がありません。

三点目は市役所の中で子育てのマップなど情報が置いてある子育て支援課は4階にありますが、段差もありベビーカーを押して登っていくのが大変です。1階にあると助かります。

市長：これは工夫したいと思います。1階に子育て支援課を持ってくるスペース

はないのですが、今年度市役所の本庁舎の改修工事を予定しています。その中で、ベビーカーを通せるようスロープの設置を予定していますので、工事の際に子育て情報スペースの設置や照明についても検討します。また、来年度はトイレの改修も行いますので、おむつ替えスペースの手洗いについても検討します。

雨の日の遊び場については、子どもセンターのようなものを設置している自治体も増えています。空きビルなどを利用している所もありますので考えてみたいと思います。

**(注2)** 赤ちゃんの駅ほっぺ…乳幼児を連れた保護者が、外出時におむつ替えや授乳などのために気軽に立ち寄ることのできる施設のことで。

北上市では、「きたかみ赤ちゃんの駅ほっぺ」として登録し、広く周知を図ることにより、赤ちゃん連れでも気軽に安心して外出できる環境を整えます。

(参考URL) <http://www.city.kitakami.iwate.jp/docs/2014061600282/>

高橋夏江さん：北上にはフォルダパークがありますよね。

市長：フォルダパークもありますよね。他にも皆さんの意見を伺いながら進めたいと思いますので、その際はよろしくお願いします。

高橋夏江さん：働いていた時のことですが、市内の病児保育が廃止されて困った経験があります。その後、病後児保育室**(注3)**はできましたが、病気が治っていない子どもを預かってくれる施設(以下、病中保育)はないですよね。子どもが病気でも仕事を休めないお母さんたちは多いのではないかと思います。

それから、赤ちゃんの駅ほっぺについては、おむつ替えのスペースは沢山ありますが、授乳室は少ないですよね。

市長：さくらホールはどうですか？

高橋夏江さん：広いスペースとついたらではなく、もう少し隔離というか仕切られていると嬉しいですけどね。

先ほど健診の話が出ましたが、子どもが2人目、3人目になっても健診では同じ指導をされます。今はネットや育児雑誌などでも手に入る情報ばかりなので、それらとは異なる情報が欲しいです。指導が10年前から変わっていないような気がします。また、一度に集めて待ち時間が長いのも風邪をうつされたりして困ります。

多子世帯への支援についてです。妊婦の医療費助成があるようですが、うちは所得制限があり、助成を受けることができません。乳幼児の医療費助成と併せて所得制限についても検討してもらえれば、みんなもっと子どもを産むのではないのでしょうか。

市長：多子世帯への優遇は良い効果が出ると思います。子どもを沢山育ててもらえるような施策は行っていきたいですね。

健診での指導についても、第1子、第2子、第3子と指導の内容は変えるべきですね。配慮が必要なのでしょうか。授乳室についても先ほどの市役所の改修に併せて検討します。

病中児保育については、これから協議をしなければならないことですが、済生会病院の移転に併せて実施してもらいたいと市としては考えています。困っている方がいるので手を差し伸べることはしなければならないと考えます。

高橋夏江さん：NPOが病中児保育室を開設しているケースもありますよね。開設にあたっての条件があるのでしょうか。

市長：医師や看護師がすぐ近くにいて連携を取れる状況にしなければならないでしょうね。いずれにせよ病院との連携が欠かせないのではないのでしょうか。

**(注3)** 病後児保育室・北上市では、子育てと就労の両立を支援するため、病気の回復期（発症直後の児童、医師の診断を受けていない児童は、お預かりできません）。にある児童をお預かりする「病後児保育室」を開設しています。保護者が仕事などの都合で保育できない児童を保育士と看護師が保育します。

(参考URL) <http://www.city.kitakami.iwate.jp/docs/2014052800479/>

#### 出席者から一言

阿部教育部長：今日は、私たちの気付かないことも多く指摘いただき、本当にありがとうございました。中でも市役所の庁舎がネックになっていると感じましたので、先ほど市長からもありましたが、庁舎の改修にあたってできるだけ要望に沿えるような形を取りたいと思います。また、情報提供が少ないという問題もありましたので、今年度から「子育てコンシェルジュ」という常勤の職員を配置しております。お困りのことがあれば、遠慮なく子育て支援課に相談ください。

熊谷保健福祉部長：先ほど静岡県では子どもの医療費が掛からないというお話がありました。現在、岩手県では医療費助成分を診察を受けた2～3か月後に皆さんの口座に振り込むという形を取っておりますが、来年8月の診療分からは、現物給付といって医療機関の窓口支払時に請求額から給付額を差し引かれるような形に変更するよう、現在取り組んでいるところです。なお、対象は小学校就学前のお子さんで外来の場合月1,500円を超えた金額についてとなりますが、給付申請の手続きは簡略化されます。

菊池子育て支援センター長：これまでも当センターを利用いただいている方も多いかと思います。子育て支援センターでは、お母さんとお子さんのお手伝いをしたいと思います。何かありましたら、いつでもお電話ください。

市長：今日に限らず、要望したいということがあれば、担当部署にお伝えください。気付かないこともありますし、皆さんのような子育ての最前線にいる方の意見は大切にしたいと考えております。なお、その際には個人個人で意見

を出すのではなく、何人かで話し合っ、意見をまとめてからにしてください  
くようお願いします。